

## 海外若手研究員受入事業府民向けセミナー 関連図書



開催日 平成30年2月16日（金）

講師 楊 洋氏

テーマ 中世帝王学の革新—『花園天皇宸記』

『花園天皇宸記』（史料纂集）村田正志校訂 続群書類従完成会刊 1982—86年

開架 書架番号 27 ||210.088||Sh89||7-1,7-2,7-3

花園天皇（1297—1348、天皇在位 1308—1318）は1310年から1332年まで、23年間に及ぶ日記を残しました。宮中の儀式、社会情勢、和漢の学問、仏教への信仰まで、幅広い事柄について書かれており、鎌倉時代末期の情勢を知る上で重要な史料です。この本は、花園天皇の日記を活字にしたものです。

『花園天皇実録』（天皇皇族実録）藤井譲治・吉岡眞之監修 ゆまに書房刊 2009年

開架 書架番号 27 ||288.4||Te37||72

「天皇皇族実録」は、天皇とその皇后・後宮・皇親・皇親妃についての記述を古文書・古記録などあらゆる資料から集め、編年体で掲載するシリーズです。『花園天皇実録』では、学問・和歌に秀で、仏教への信仰が深かった花園天皇の事績が記録されています。

『花園天皇遺芳 花園天皇六百五十年御遠諱記念』村田正志編 楊岐寺刊 1995年

書庫 ||214.4||Mu59||

花園天皇は、日記『花園天皇宸記』のほか、禅の師であった宗峰妙超しゅうほうみょうちょう（1282—1337）との問答、のちに光厳天皇（1313—1364）となる甥の親王に君主としての心構えを伝えた書『誠太子書』などを記し、勅撰和歌集『風雅集』の撰者としても活躍しました。花園天皇の多くの事績のうち、肖像画、日記、手紙など主要なものの写真を掲載し、由緒や内容を解説したものです。

『妙心寺 開山無相大師 650年遠諱記念』東京国立博物館・京都国立博物館・読売新聞社

編 読売新聞社刊 2009年

開架 書架番号 1 K161||702.17||To46||

京都国立博物館、東京国立博物館で開催された「妙心寺展」の展覧会図録です。禅宗への信仰を深めた花園法皇は、1337年に妙心寺の開山（初代住持）として無相大師・関山慧玄かんざん えげん（1277—1360）を迎えました。彼の650年遠諱を記念し、禅文化の名宝が紹介されています。

※当館平井副館長の著作『近世妙心寺建築の研究』思文閣出版刊 2013年 もご参照ください。